

ビジネス総研 通信

「ビジネス総研通信」を創刊しました。
毎月発行を目指します。

春はもうそこ!!



2月9日、大宰府天満宮に出かけた。

飛梅がもう八分咲き。春の足音を伝えていた。

参道は参拝者で賑わい、梅が枝餅のお店には行列ができていた。

月隈少年柔道大会

2月10日、福岡武道館において、「月隈少年柔道大会」が開催され、福岡県内をはじめ、九州各県から、幼稚園から小学生まで、約1000名の選手が熱戦を繰り広げた。

この「柔道大会」は、福岡市博多区の「月隈少年柔道クラブ」(迫野譲二館長)が主宰し、過去36年間に亘って開催されてきたも

ので、個人道場が主宰する大会としては1、2の規模。今年も、福岡武道館には、多くの父母や家族も応援にかけつけ、熱気にあふれた。

スタコラ

弊社スタッフによるリレー形式のコラム。ホームページに定期的に新しいコラムをアップしています。

いぶすき菜の花マラソンを終えて

高尾 英正

いよいよ2013年の「いぶすき菜の花マラソン」を迎え、やはりいぶすき菜の花マラソンを走らないわけにはいかんということで元旦から例年通り走ってみました。

昨年の肉離れ痛みはあるものの行けそうな感じが！医者からは「無理せず」と言われ、走っていないとは言われなかったもののヨッシャでGOでした。

さて、8年一緒しているマラソンチーム《チーム・アンブレラ》ツアーでワクワクしながらのバスに乗り込みいざGO！現地宿にて前夜祭?!を終え、温泉に入っている感じで迎えたマラソン当日。んなんと初の雨。それも寒い。雨対策のビニールを被ったスタート。最初のアップダウンを乗り切って池田湖へ。雨は上がってきたがとにかく寒い。

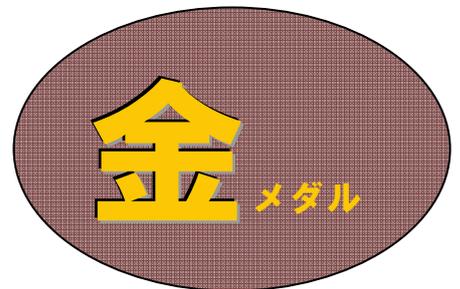
とにかく沿道の方のボランティアパワーが凄い。「頑張れ~歩くな~走れ~!」という有名なおばちゃんがいる急な坂もなんとか登り切り27キロからの田圃道。しか

し、ここはつらかった。

昨秋から殆ど走ってない足に30キロ以降のマラソンの痛みがやってきた。しかし、沿道では傘をさして寒そうにしながら応援してくれる方々がいるのでなんとか走り切りたいとポチポチランに。そして温泉街。なんとチーム・アンブレラ帽を見つけて一緒にラン！そして2人でゴール！

ゴール後、冷えた体を温泉であるお風呂で癒した喜びは今も忘れられず。三日間で計5回温泉入り！体が癒されました。

いくつかのマラソンコースを走っていますが、やはりここは格別。2013年も予定通りいぶすき菜の花マラソンを終え、年始幸先良くスタートできました。



ロンドンパラリンピックゴールボールのゴールドメダリスト浦田理恵さんのお話を聞く機会があった。

山本華世さんとの軽妙なトークで中途失明のことやゴールボールとの出会いなど、視覚障がいをものともしない語り口とその生き方と姿勢に深い感銘をうけた。

トークの中での「音を観るとは『観音様みたいやねー』との華世さんの言は、まさに言い得ていたと感心した。

業務紹介

自治体職員採用支援業務

自治体職員採用試験は、行政改革および公務員制度の改革の方向性が定められ、職員（公務員）としてふさわしい資質や能力、変化対応能力等を見極めて採用を決定することがますます重要になっています。

また、これまでの職員採用をめぐる、一部の不適正な事案から、従来の一次試験そして、内部の担当官による面接等の二次試験に対して、国民の関心は高まり、公正な運用を求める動きが強まり、職員採用試験は、より公正な試験方法と採用決定にいたる過程の公明性が強く求められています。

こうした中で、職員採用試験への応募者の中から、自治体職員像として成長できる可能性を持った人材を選抜するための面接を実施し、任命権者（その自治体の長）の採否判断に必要な情報を提供する業務です。

そのために、職員採用試験を実施する自治体が求める職員像に沿った採用基準を明確にし、その可能性を判断するための公正な選抜基準と必要な能力及び特性項目を設定して面接を実施し、結果報告書を提案します。

この業務は、弊社代表が10数年にわたって、実践し確

立してきた業務で、ここ数年、検討・採用する自治体が広がっています。



映画大好きのスタッフが、毎回、自分の言葉で執筆します。

東京家族

監督：山田洋二
出演：橋下 功
吉行 和子
西村 雅彦
夏川 結衣



今の日本、そして、私たち家族の物語を描いた作品。とくに、福岡出身の妻夫木聡（次男・昌次）と蒼井優（次女の恋人・紀子）二人の演技が光っている。

山田洋二監督はこの映画の製作にあたって次のように語っています。

「2011年4月1日クランクインを目指していたこの作品は、準備の段階で『3・11の東日本大震災』それに続く『福島原発のメルトダウン』という歴史的

な事件に遭遇し、制作を延期することになりました。

『3・11』以後の東京を、或いは、この国を描くためには、どうしてもそれが必要だと考えたからです。

あれから11か月。新たに書き直した脚本でクランクインを迎えます。

これは、2012年5月の東京物語です。長く続いた不況に重ねて、大きな災害を経験し、新たな活路も見いだせないまま苦悩する今の日本の観客が、大きな共感の笑いと涙で迎えてくれるような作品にしたいと、心から願いつつ撮影を開始したいと思えます。」



「ビジネス総研通信」が、ようやく発行の運びとなりました。「身近で、役に立つ通信」として、毎月発行を目指します。よろしくお祈りします。

弊社への質問や要望、身近な情報や感想など、お気軽にお寄せください。

Relationship & Partnership
B ビジネス 総研

福岡市博多区博多駅前4-33-11-702

☎092-4094177 FAX092-4094170

Eメール kuma@b-souken.com

URL <http://b-souken.com>